

# 平成29年度事業報告書

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

## 第1 職業能力評価に係る基盤の整備・充実

事 項	実 施 状 況												
1 良質な技能検定試験問題等の作成と技能検定制度の普及促進													
ア 技能検定試験問題等の作成	<p>検定職種（作業）ごとに中央技能検定委員会を開催し、現場における技術・技能の動向等を踏まえるとともに、都道府県職業能力開発協会（以下「都道府県協会」という。）の実施経費低減並びに受検者増を目指した良質な試験問題及びその実施要領を作成した。また、外国人に対する技能実習制度に係る職種（作業）について、試験問題等の作成を行った。</p> <table><tr><td>(1) 等級別作業数</td><td>650作業</td><td>[668作業]</td></tr><tr><td>(2) 作成学科試験問題数</td><td>33,960題</td><td>[34,880題]</td></tr><tr><td>(3) 技能検定受検申請者総数</td><td>228,286名</td><td>[204,488名]</td></tr><tr><td>(4) 合格者総数</td><td>142,581名</td><td>[129,090名]</td></tr></table> <p>注〔 〕内は平成28年度実績</p>	(1) 等級別作業数	650作業	[668作業]	(2) 作成学科試験問題数	33,960題	[34,880題]	(3) 技能検定受検申請者総数	228,286名	[204,488名]	(4) 合格者総数	142,581名	[129,090名]
(1) 等級別作業数	650作業	[668作業]											
(2) 作成学科試験問題数	33,960題	[34,880題]											
(3) 技能検定受検申請者総数	228,286名	[204,488名]											
(4) 合格者総数	142,581名	[129,090名]											
イ 技能検定制度の普及・促進	<p>技能検定3級について、平成29年度から型枠施工職種を新規に実施した。また、3級新規創設について検討した結果、平成30年度からかわらぶき職種を新設するとともに、厚生労働省の「技能検定集中強化プロジェクト」の一環として、五軸マシニングセンタ等11職種について、職種・作業の新設に係る調査を実施した。</p> <p>さらに、技能検定受検申請者数の拡大に向けて、都道府県協会と連携し、ポスター、リーフレット等による広報活動、各種広告媒体の活用、ホームページの充実、関係団体等を通じた受検勧奨により、制度の一層の普及・促進を図った。</p>												
ウ 技能検定試験業務の指導	<p>技能検定の情報収集及び指導のため、中央技能検定委員及び当協会職員を実技試験会場等に派遣し、都道府県技能検定委員等から技能検定試</p>												

事 項	実 施 状 況
	<p>験の課題内容等について意見を聴取するとともに、都道府県協会に対して、技能検定試験の実施について技術的な業務指導を行った。</p> <p>1. 機械・電気系職種（作業）  機械加工、仕上げ、機械検査、電子機器組立て、電気機器組立て、半導体製品製造、プリント配線板製造、自動販売機調整、産業車両製造、光学機器製造  （10職種14作業）</p> <p>2. 金属加工系職種（作業）  めっき、鉄道車輛製造・整備、油圧装置調整  （3職種3作業）</p> <p>3. 建設系職種（作業）  築炉、熱絶縁施工、塗装、工業包装  （4職種4作業）</p> <p>4. 諸工業系職種（作業）  園芸装飾、ニット製品製造、和裁、紙器・段ボール箱製造、プラスチック成形、パン製造、ハム・ソーセージ・ベーコン製造、  （7職種8作業）</p>
<p>エ 都道府県技能検 定委員の研修の実 施</p>	<p>都道府県技能検定委員を対象に、資質の向上及び試験の公正な実施のため、次の職種・作業について研修を行った。</p> <p>とび（とび作業）  (1)開催日：平成29年 5月16日  (2)場 所：A P 西新宿（東京都）  (3)出席者：都道府県技能検定委員、中央技能検定委員</p>
<p>オ 各種会議の開催</p>	<p>実技試験の採点基準等の調整による全国的水準の統一、技能検定試験の適正な実施のための各種情報の提供及び意見交換等を行うため、次の会議を実施した。</p> <p>1. 技能検定実技試験水準調整会議（1回）  (1)開催日：平成29年11月 1日  (2)場 所：中野サンプラザ（東京都）  (3)出席者：都道府県協会職員、同技能検定委員、都道府県庁職員、中央技能検定委員、厚生労働省職員</p>

事 項	実 施 状 況												
<p>カ 技能士実態調査 の 実施</p> <p>2 CS、CADによ る IT 関連分野の能 力評価制度の推進</p> <p>ア コンピュータサ ービス技能評価試 験の実施</p>	<p>2. 都道府県技能検定業務担当課長会議（2回）</p> <p>(1) 開催日：前期 平成29年 5月12日 後期 平成29年11月 1日</p> <p>(2) 場 所：前期 中野サンプラザ（東京都） 後期 中野サンプラザ（東京都）</p> <p>(3) 出席者：都道府県協会職員、厚生労働省職員</p> <p>3. 技能検定実施職種に係る協力団体との情報交換会議（1回）</p> <p>(1) 開催日：平成30年3月19日</p> <p>(2) 場 所：A P 西新宿</p> <p>(3) 出席者：金属加工・機械・電気関係団体（一般社団法人日本建設機 械工業会等）、厚生労働省職員等</p> <p>技能検定試験に合格した技能士、技能士が所属する企業・団体を 対象に、技能士に求められる技能・知識等に関する実態を調査し、 今後の技能検定試験での評価すべき技能・知識に関する検討に資す るため、（一社）全国技能士会連合会に委託して調査を実施した。</p> <p>調査対象：建設関係職種 技能士及び企業・団体 1,480件 有効回答 1,119件（75.6%）</p> <p>調査期間：平成29年10月2日～11月17日</p> <p>1. コンピュータサービス技能評価試験の実施</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 受験申請者総数</td> <td>39,818名 [42,600名]</td> </tr> <tr> <td>・ワープロ部門</td> <td>20,592名 [21,499名]</td> </tr> <tr> <td>・表計算部門</td> <td>18,675名 [19,493名]</td> </tr> <tr> <td>・情報セキュリティ部門</td> <td>476名 [ 502名]</td> </tr> <tr> <td>※データベース部門特例実施</td> <td>75名 [ 955名]</td> </tr> <tr> <td>(2) 合格者総数</td> <td>33,932名 [36,400名]</td> </tr> </table> <p>2. コンピュータサービス技能評価試験の広報周知</p> <p>受験者に対し、次の広報周知を行った。</p> <p>(1) ポスター・パンフレットの印刷、配付</p> <p>(2) ホームページによる情報提供</p> <p>(3) 各種会議での説明、受験勧奨</p>	(1) 受験申請者総数	39,818名 [42,600名]	・ワープロ部門	20,592名 [21,499名]	・表計算部門	18,675名 [19,493名]	・情報セキュリティ部門	476名 [ 502名]	※データベース部門特例実施	75名 [ 955名]	(2) 合格者総数	33,932名 [36,400名]
(1) 受験申請者総数	39,818名 [42,600名]												
・ワープロ部門	20,592名 [21,499名]												
・表計算部門	18,675名 [19,493名]												
・情報セキュリティ部門	476名 [ 502名]												
※データベース部門特例実施	75名 [ 955名]												
(2) 合格者総数	33,932名 [36,400名]												

事 項	実 施 状 況
<p>イ CADトレース技能審査の実施</p>	<p>3. 「情報セキュリティ部門」の試験会場の拡大  認定施設在学生以外の一般受験者でも随時受験がしやすいように常設の指定試験会場を全国に約210施設オープンした。</p> <p>1. CADトレース技能審査の実施  都道府県協会及び試験実施協力施設の協力のもとに、機械部門（上・中・初級）及び建築部門（上・中・初級）について、試験を実施した。</p> <p>(1) 受験申請者総数 1,638名〔2,339名〕  ・機械部門 1,169名〔1,709名〕  ・建築部門 469名〔630名〕</p> <p>(2) 合格者総数 866名〔1,100名〕</p> <p>なお、合格者に対しては、中央協会会長及び都道府県協会会長の連名による合格証書を交付した。</p> <p>2. CADトレース技能審査の広報周知  受験者に対し、次の広報周知を行った。</p> <p>(1) ポスター・パンフレットの印刷、配付  (2) ホームページによる情報提供  (3) 各種会議での説明、受験勧奨</p> <p>3. CADトレース技能審査の廃止  CADトレース技能審査については、機械部門、建築部門ともに平成29年度をもって廃止した。</p>
<p>3 ビジネス・キャリア検定試験の普及拡大</p> <p>ア 効果的・効率的なプロモーションの推進</p>	<p>1. ビジネス・キャリア検定試験の実施  以下のプロモーション活動等に取り組んだ結果、過去最高となった昨年度実績をさらに上回り（対前年度比2,488名増、9%増）、制度創設以来初となる3万人の大台を超えた。</p> <p>試験は、37都道府県協会の協力を得て、全国47都道府県において、8分野42試験区分（1級・2級・3級・BASIC級）を実施した。</p> <p>(1) 受験申請者数 30,808名〔28,320名〕  (2) 合格者数 13,598名〔12,117名〕  (3) 実施試験区分 8分野42試験区分</p> <p>（1級）人事・人材開発・労務管理、営業・マーケティング、生産管理、</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>ロジスティクス、経営情報システム、経営戦略</p> <p>(2級) 人事・人材開発、労務管理、経理、財務管理(財務管理・管理会計)、営業、マーケティング、生産管理プランニング(製品企画・設計管理)、生産管理プランニング(生産システム・生産計画〔加工型・組立型〕)、生産管理プランニング(生産システム・生産計画〔プロセス型〕)、生産管理オペレーション(作業・工程・設備管理)、生産管理オペレーション(購買・物流・在庫管理)、企業法務(組織法務)、企業法務(取引法務)、総務、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション、経営情報システム(情報化企画)、経営情報システム(情報化活用)、経営戦略</p> <p>(3級) 人事・人材開発、労務管理、経理(簿記・財務諸表)、経理(原価計算)、財務管理、営業、マーケティング、生産管理プランニング、生産管理オペレーション、企業法務、総務、ロジスティクス管理、ロジスティクス・オペレーション、経営情報システム、経営戦略</p> <p>(BASIC級) 生産管理、ロジスティクス</p> <p>2. ビジネス・キャリア検定試験のプロモーション活動</p> <p>都道府県協会との連携によるリーフレットの配布、都道府県協会主催会議の場を活用した説明会の開催、関係団体の協力によるメールマガジンの配信、業界紙への広告出稿等を通じた広報・広告活動の他、製造業(技能検定活用企業)、物流業、教育訓練機関を対象とした活用促進を図った。</p> <p>特に、物流・教育関連では、以下の取組みが行われた。</p> <p>(物流関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会(JILS)主催の「物流技術管理士補」資格認定コースの受講要件にロジスティクス分野2・3級合格が追加された。</li> <li>・「総合物流施策推進プログラム」における「物流に関する高度な資格の取得者数」の1つとして、ロジスティクス分野1・2級が指標とされているところ。また、これを機に、平成30年度ロジスティクス検定については、経済産業書及び国土交通省の後援名義を取得。</li> </ul> <p>(教育関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)が行う生産性向上支援訓練において、マーケティング2級の標準テキストを活用した訓練が実施された(鹿児島県)。</li> <li>・在職者訓練(キャリアアップ講習)において、生産管理 BASIC 級標準テキストを活用した訓練が来年度に実施されることとなり、ビジ</li> </ul>

事 項	実 施 状 況
イ 学習環境の整備	<p>キャリア認定講座として認定した（東京都立城南職業能力開発センター大田校）。</p> <p>1. 標準テキストの改訂  社会経済や技術革新の動向、諸制度等の見直しが反映されたものとなるよう、概ね5年サイクルでの改訂計画を立て、以下の試験区分について発刊。  3級経理（原価計算）、2級財務管理（財務管理・管理会計）、2級営業、3級営業、2級ロジスティクス管理、3級ロジスティクス管理、2級ロジスティクス・オペレーション、3級ロジスティクス・オペレーション</p> <p>2. 過去問題解説集の作成  学習環境の一層の充実を図るため、以下の試験区分について発刊。  2・3級企業法務、2・3級総務</p>
ウ 試験体系の整備	<p>1. 1級試験の実施  本試験の最終到達を示す1級について、昨年度に実施した3分野（人事・人材開発・労務管理、営業・マーケティング、経営情報システム）に、さらに3分野（生産管理、ロジスティクス、経営戦略）を追加し、6分野について試験を実施した。</p> <p>2. BASIC級試験の実施等  2分野（ロジスティクス、生産管理）について試験を実施した。</p>

## 第2 職業生活の全期間を通じたキャリア形成の支援

事 項	実 施 状 況
<p>1 企業におけるキャリア形成の促進</p> <p>ア 職業能力開発サービスセンター業務の実施</p>	<p>事業主等に対してキャリア形成支援に関する助言・指導、情報提供等を行う職業能力開発サービスセンター業務を、都道府県協会と十分な協力及び連携のもとに支援するため、次の事業を行った。</p> <p>なお、岐阜県、三重県地区については平成24年度から、岡山県地区は平成28年度から、静岡県地区は平成29年度からそれぞれ同業務を中央協会が行った。</p> <p>1. 地域における労働者のキャリア形成を推進するため、都道府県協会に設置した職業能力開発サービスセンターに配置されているキャリア開発</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>アドバイザー、人材育成コンサルタント、キャリア形成サポーターが、事業主等に対し、キャリア形成支援に関する各種助言・指導、情報提供等を効果的に行うため次の支援を行った。</p> <p>(1) キャリア支援企業創出促進事業業務取扱手引の作成・配布 250部 [250部]</p> <p>(参考) 各都道府県協会における各種支援実績 窓口相談、企業訪問等 32,369件 [45,873件]</p> <p>(2) 職業能力開発推進者講習の円滑かつ効果的な実施を目的に、情報提供、教材の紹介等の各種支援を行った。</p> <p>(参考) 各都道府県協会における職業能力開発推進者講習開催実績 開催回数：91回 [115回] 参加者数：3,051名 [3,190名]</p> <p>(3) 適切な情報提供 企業、労働者の多様化するニーズに即応した職業能力の開発及び労働者のキャリア形成を推進するために、必要なデータの蓄積・更新を進め、インターネット等を通じて都道府県協会、事業主等に対して業務支援及び情報提供サービスを行った。</p> <p>(4) キャリアコンサルティング等の実施 企業による従業員へのキャリア形成支援と従業員の主体的・自律的なキャリア形成が、より良い共生関係のもとに促進されるよう、キャリア形成サポーターを企業に訪問させ、キャリア診断サービスを実施するための支援を行った。</p> <p>ア. キャリア診断サービス実施事業所 180事業所 [135事業所]</p> <p>イ. キャリア診断サービスのご案内(リーフレット)の作成・配布 18,000部 [20,000部]</p> <p>ウ. キャリア診断サービスの手引きの作成・配布 12,000部 [10,000部]</p> <p>エ. キャリア診断実施に係るシート等の作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア診断シートA (人事担当者用) 800部 [750部]</li> <li>・キャリア診断シートB (従業員用) 8,000部 [9,500部]</li> <li>・キャリア診断シートC (キャリア・カウンセリング用) 2,500部 [2,300部]</li> </ul> <p>2. 職業能力開発サービスセンター業務の計画的かつ効果的な運営を支援するため、キャリア開発アドバイザー、人材育成コンサルタント、キャリア形成サポーターを対象とした研修会を開催した。</p> <p>(1) キャリア開発アドバイザー研修</p> <p>ア. 開催日：平成29年5月17日、5月18日</p> <p>イ. 場 所：人事労務会館 (東京都)</p>

事 項	実 施 状 況
<p>イ キャリア形成支援ツールの活用促進及び研修の効果的な実施</p>	<p>ウ.参加者：46名</p> <p>(2)人材育成コンサルタント研修</p> <p>ア.開催日：平成29年5月31日</p> <p>イ.場 所：A P品川（東京都）</p> <p>ウ.参加者：75名</p> <p>(3)キャリア形成サポーター研修</p> <p>ア.開催日：平成29年5月30日</p> <p>イ.場 所：A P品川（東京都）</p> <p>ウ.参加者：57名</p> <p>3. 個人の主体的なキャリア形成を支援する企業を創出するため、次のとおりリーフレットを作成・配布するなど、事業主等に対して各種広報活動等を行い、企業内キャリア形成支援の普及に努めるとともに、事業内職業能力開発計画等の周知啓発を行った。</p> <p>(1)職業能力開発サービスセンターのご案内（簡易版） 25,000部〔27,000部〕</p> <p>(2)職業能力開発サービスセンターのご案内（詳細版） 22,000部〔20,000部〕</p> <p>企業及び従業員のキャリア形成支援を推進するために、職業能力開発推進者、キャリアコンサルタント等を対象に、中央協会が開発・改訂したキャリア形成支援ツール（CADS&amp;CADI）を活用したセミナーを開催した。</p> <p>また、定年後のシニアになっても生き生き働き続けるために、40代半ば以降の従業員を対象に、中央協会が開発した教材を活用したキャリア・シフトチェンジのための研修（ワークショップ）及び当該研修を実施できるインストラクターの養成を行うためのセミナーを実施した。</p> <p>1. CADS&amp;CADIを使った従業員のキャリア開発の進め方セミナー（全6回）</p> <p>(1)第1回</p> <p>ア.開催日：平成29年8月30日</p> <p>イ.場 所：飯田橋レインボービル（東京都）</p> <p>ウ.受講者：26名</p> <p>(2)第2回</p> <p>ア.開催日：平成29年9月26日</p> <p>イ.場 所：エル大阪（大阪府）</p> <p>ウ.受講者：16名</p> <p>(3)第3回</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>ア. 開催日：平成29年10月19日  イ. 場 所：飯田橋レインボービル（東京都）  ウ. 受講者：9名</p> <p>(4) 第4回</p> <p>ア. 開催日：平成29年11月10日  イ. 場 所：A P 名古屋（愛知県）  ウ. 受講者：6名</p> <p>(5) 第5回</p> <p>ア. 開催日：平成30年1月19日  イ. 場 所：エル大阪（大阪府）  ウ. 受講者：7名</p> <p>(6) 第6回</p> <p>ア. 開催日：平成30年2月9日  イ. 場 所：飯田橋レインボービル（東京都）  ウ. 受講者：10名</p> <p>2. キャリア・シフトチェンジのためのワークショップインストラクター養成研修（全4回）</p> <p>(1) 第1回</p> <p>ア. 開催日：平成29年7月6日、7月7日  イ. 場 所：A P 西新宿（東京都）  ウ. 受講者：14名</p> <p>(2) 第2回</p> <p>ア. 開催日：平成29年10月5日、10月6日  イ. 場 所：A P 梅田東（大阪府）  ウ. 受講者：23名</p> <p>(3) 第3回</p> <p>ア. 開催日：平成29年11月30日、12月1日  イ. 場 所：A P 西新宿（東京都）  ウ. 受講者：15名</p> <p>(4) 第4回</p> <p>ア. 開催日：平成30年1月25日、26日  イ. 場 所：飯田橋レインボービル（東京都）  ウ. 受講者：17名</p> <p>3. キャリア・シフトチェンジのためのワークショップ（オープン研修）（全1回）</p> <p>ア. 開催日：平成30年1月18日  イ. 場 所：エル大阪（大阪府）</p>

事 項	実 施 状 況
<p>2 労働者の主体的な能力開発に対する適切な情報提供</p>	<p>ウ. 受講者：3名</p> <p>労働者の自発的な職業能力開発の取組に対する支援及び環境整備として、「教育訓練給付制度講座検索システム」に一般教育訓練指定講座及び専門実践教育訓練指定講座に関する情報を提供した。</p> <p>また、教育訓練施設から提出された一般教育訓練及び専門実践教育訓練への講座指定申請に関する資料に対する事前調査を行った。</p> <p>(参考) 指定講座の概要</p> <p>○一般教育訓練  指定講座数：10,927講座（通学制：8,211件、通信制2,716件）  教育訓練施設数：1,741施設</p> <p>○専門実践教育訓練  指定講座数：2,223講座</p> <p>業務独占・名称独占資格の養成課程：1,279講座  専門学校の職業実践専門課程：770講座  専門職学位課程：83講座  大学等の職業実践力育成プログラム：79講座  一定レベル以上の情報通信技術養成課程：12講座</p> <p>(出所：厚生労働省（平成29年10月1日現在）)</p>

### 第3 ものづくり日本を支える技能の継承・発展及び振興

事 項	実 施 状 況
<p>1 若年者ものづくり競技大会  ア 技能競技大会の実施</p>	<p>第12回若年者ものづくり競技大会を、厚生労働省との共催により愛知県立名古屋高等技術専門校、ポリテクセンター名古屋港、名古屋市中小企業振興会館（名古屋市）、ポリテクセンター中部（小牧市）の4会場以下のおり開催した。</p> <p>1. 開催日程：平成29年8月3日（木）～8月4日（金）※</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月3日（木） 競技会場の下見、工具展開、職種別の開会式 ※</li> <li>・8月4日（金） 競技実施 ※</li> </ul> <p>[※旋盤職種、フライス盤職種は7月30日から8月4日の間]全競技終了後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月5日（土） ホームページにて、入賞者を発表した。  今大会の入賞者は、金賞17人、銀賞32人、銅賞32人、敢闘賞86人であった。第1位受賞者に、厚</li> </ul>

事 項	実 施 状 況
	<p style="text-align: center;">生労働大臣賞として楯を授与した。</p> <p>2. 開催場所：愛知県立名古屋高等技術専門校、ポリテクセンター名古屋港、名古屋市中心企業振興会館（名古屋市）、ポリテクセンター中部（小牧市） 4会場</p> <p>3. 競技職種：15 職種を実施</p> <p style="padding-left: 2em;">【愛知県立名古屋高等技術専門校会場】 旋盤 1 職種</p> <p style="padding-left: 2em;">【ポリテクセンター名古屋港会場】 自動車整備 1 職種</p> <p style="padding-left: 2em;">【名古屋市中心企業振興会館会場】 メカトロニクス、機械製図（CAD）、電子回路組立て、電気工事、木材加工、建築大工、IT ネットワークシステム管理、ウェブデザイン、オフィスソフトウェア・ソリューション、グラフィックデザイン、ロボットソフト組込み、造園 12 職種</p> <p style="padding-left: 2em;">【ポリテクセンター中部会場】 フライス盤 1 職種</p> <p>4. 参加選手：443 人</p> <p>5. 来 場 者：4,443 人</p> <p>6. 大会要綱：技術委員会、競技委員会及び運営委員会の各設置要綱を作成した。</p> <p>7. 大会運営：競技委員会や技術委員会により、競技会場の検討、課題の作成、入賞者の決定等を行った。また、入賞者に対するメダル等を作成し配布した。</p> <p>8. 後 援：文部科学省、経済産業省、国土交通省、愛知県、NHK、都道府県職業能力開発協会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、公益財団法人産業教育振興中央会、職業能力開発総合大学校、公益社団法人全国工業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会、（一社）全国高等学校PTA連合会、（一社）全国技能士会連合会、全国専修学校各種学校総連合会、全国中小企業団体中央会、株式会社日刊工業新聞社、（一社）日本経済団体連合会、日本商工会議所、</p>

事 項	実 施 状 況
<p>イ ものづくり技能に関する啓発活動等</p>	<p style="text-align: center;">日本労働組合総連合会</p> <p>競技内容の理解や本大会への来場促進を図るため、以下のとおり広報等を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大会ポスター及び職種紹介小冊子の作成・配付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数：3,900枚（ポスター）、26,000部（職種紹介小冊子）</li> <li>・配付先：全国の工業高校、公共職業能力開発施設、都道府県、都道府県協会及び競技会場近隣の小中学校等1,420ヶ所へポスターと職種紹介小冊子を配付した。</li> </ul> </li> <li>2. ガイドブック（選手名簿、競技課題等を掲載）の作成・配付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数：1,450部</li> <li>・配付先：競技委員、来場者、都道府県及び都道府県協会等へガイドブックを配付した。</li> </ul> </li> <li>3. 技能五輪全国大会成績優秀者等による実演等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：平成29年8月2日（水）、4日（金）</li> <li>・実演場所：名古屋高等技術専門学校、ポリテクセンター中部、名古屋市中小企業振興会館</li> <li>・実演職種：電子回路組立て、電気工事、グラフィックデザイン、旋盤及びフライス盤</li> </ul> </li> <li>4. ホームページを活用した情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載内容：競技課題のほか、直接会場に来場できない方のために、競技スケジュールや参加者名簿を掲載し、本大会を紹介した。</li> <li>・掲載先：中央職業能力開発協会のホームページ</li> <li>・アクセス数：313,751件（H29/4/1～H30/3/31現在）</li> </ul> </li> </ol>
<p>ウ アンケートの実施</p> <p>2 技能五輪全国大会</p>	<p>来場者、選手及び選手所属機関等を対象に、今後の大会運営の参考等とするため、以下のとおりアンケートを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内 容：性別、年齢層、本大会の認識状況、参加職種、組織の種類、人材養成への貢献度、次回大会への参加意向 等</li> <li>2. 回収状況：来場者分409件、参加選手分305件、選手所属機関196件のアンケートを回収した。</li> </ol> <p>第55回技能五輪全国大会をマロニエプラザ（宇都宮市）他、全17会</p>

事 項	実 施 状 況
<p>ア 技能競技大会の実施</p>	<p>場で以下のとおり開催した。</p> <p>1. 開催日程: 平成 29 年 11 月 24 日 (金) ～11 月 27 日 (月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11 月 24 日 (金) 競技会場の下見、工具展開</li> <li>・ 11 月 25 日 (土) 競技実施 [一部職種は先行して実施]</li> <li>・ 11 月 26 日 (日) 全競技が終了。その後、受賞者選考のための技術委員会を開催し入賞者を決定した。</li> <li>・ 11 月 27 日 (月) 9 時 30 分からの「栃木県体育館」の閉会式において、大会の入賞者 (金賞 44 人、銀賞 91 人、銅賞 95 人、敢闘賞 219 人) にメダルを授与した。また、金賞受賞者、最優秀選手団、優秀選手団には、厚生労働大臣賞等として記念の楯を授与した。</li> </ul> <p>2. 開催場所: マロニエプラザ、宇都宮市体育館、県央産業技術専門学校、宇都宮工業高等学校、とちぎ福祉プラザ、国際テクニカル調理製菓専門学校、IFC 調理師専門学校、宇都宮青葉高等学校 (宇都宮市)、関東職業能力開発大学校、コマツ小山工場、県南体育館 (小山市)、にしなすの運動公園 (那須塩原市)、氏家体育館・氏家公民館 (さくら市)、日産自動車栃木工場体育館、日産栃木自動車大学校、上三川町農村環境改善センター (上三川町)、石橋体育センター (下野市) 17 会場</p> <p>3. 競技職種: 42 職種を実施</p> <p>機械組立て、抜き型、精密機器組立て、メカトロニクス、機械製図、旋盤、フライス盤、構造物鉄工、電気溶接、木型、タイル張り、自動車板金、曲げ板金、配管、電子機器組立て、電工、工場電気設備、石工、左官、家具、建具、建築大工、貴金属装身具、フラワー装飾、美容、理容、洋裁、洋菓子製造、自動車工、西洋料理、造園、和裁、日本料理、レストランサービス、車体塗装、冷凍空調技術、IT ネットワークシステム管理、情報ネットワーク施工、ウェブデザイン、とび、時計修理、移動式ロボット</p> <p>4. 参加選手: 1,337 人</p> <p>5. 来場者: 延べ 199,063 人</p>

事 項	実 施 状 況
<p>イ 第 55 回技能五輪 全国大会選考会の 開催</p>	<p>6. 大会要綱: 技術委員会、競技委員会及び運営委員会の各設置要綱を作成した。</p> <p>7. 大会運営: 運営委員会・競技委員会・技術委員会により、競技会場の検討、課題の作成、入賞者の決定等を行った。</p> <p>8. 後援: 文部科学省、経済産業省、国土交通省、都道府県（栃木県を除く）、都道府県職業能力開発協会、NHK、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構、職業能力開発総合大学校、（一社）全国技能士会連合会、全国専修学校各種学校総連合会、全国中小企業団体中央会、全国農業高等学校長協会、株式会社日刊工業新聞社、（一社）日本経済団体連合会、（一社）日本産業訓練協会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会、公益社団法人全国工業高等学校長協会</p> <p>工業高校生等に対して、技能五輪全国大会への出場機会を与えるとともに、出場レベルの技能を有している者を選考するため、以下のとおり選考を行った。</p> <p>1. 実施職種、開催日及び開催場所 「メカトロニクス」、「自動車整備」、「IT ネットワークシステム管理」※、「ウェブデザイン」、「ロボットソフト組込み」職種 ・開催日: 平成 29 年 8 月 3 日（木）～8 月 4 日（金） ※「IT ネットワークシステム管理」は平成 29 年 8 月 1 日（火）～8 月 2 日（水） ・開催場所: 名古屋市中小企業振興会館、ポリテクセンター名古屋港（名古屋市）</p> <p>2. 結果 上記 1 の各職種について、上位選手 3 名、栃木県選手の最上位者及び競技委員特別枠の選手が第 55 回技能五輪全国大会への出場権を得た。</p>
<p>ウ ものづくり技能 に関する啓発活動 等</p>	<p>競技内容の理解や本大会への来場促進を図るため、以下のとおり広報等を行った。</p> <p>1. 職種紹介小冊子の作成 ・作成部数: 16,500 部 ・配布先: 競技内容や競技のポイントを解説した小冊子を、大会期間中、競技会場（17 会場）にて来場者へ配布した。</p>

事 項	実 施 状 況
<p>エ アンケートの実施</p> <p>3 技能五輪全国大会の活性化等</p> <p>ア 技能五輪全国大会活性化委員会の開催</p> <p>イ 2次予選会の実施</p>	<p>2. 競技中継の実施</p> <p>(1) 定点カメラ及び撮影クルーによる撮影を行った。</p> <p>(2) ダイジェスト映像を作成し、競技映像を専用のウェブサイトで配信した。</p> <p>(内容)</p> <p>(1) 実況ライブ中継 県央産業技術専門校 3 職種、石橋体育センター2 職種</p> <p>(2) 定点カメラによるライブ映像配信 マロニエプラザ 2 職種、氏家体育館・氏家公民館 1 職種</p> <p>(3) 1 分程度の競技職種の紹介映像を作成し、専用ウェブサイトで配信した。</p> <p>3. ホームページを活用した情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掲載内容: 競技課題のほか、直接会場に来場できない方のために、競技スケジュールや参加者名簿を掲載し、本大会を紹介した。</li> <li>・掲載先: 中央職業能力開発協会のホームページ</li> <li>・アクセス数: 829,484 件 (H29/4/1～H30/3/31 現在)</li> </ul> <p>来場者、選手及び選手所属機関等を対象に、今後の大会運営の参考等とするため、以下のとおりアンケートを行った。</p> <p>1. 内 容: 性別、年齢層、本大会の認識状況、参加職種、組織の種類、人材養成への貢献度、次回大会への参加意向 等</p> <p>2. 回収状況: 来場者分 2447 件、参加選手分 771 件、選手所属機関 370 件のアンケートを回収した。</p> <p>技能五輪全国大会の開催規模、競技課題の水準等が 30 年度以降の全国大会の活性化につながる事項の検討を行い、報告書を取りまとめた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期: 平成 29 年 7 月～9 月 3 回実施</li> <li>・委員: 厚生労働省担当官、学識経験者、企業の技能者成責任者、都道府県協会役員等</li> </ul> <p>旋盤職種及び電子機器組立て職種については、2 次予選会を行い、参加人数の調整を行った。</p> <p>(旋盤職種)</p>

事 項	実 施 状 況
<p>4 北東アジア地域における技能競技大会の検討の推進</p> <p>ア 検討委員会の設置・運営</p> <p>イ プレ競技大会の実施、韓国・台湾との協議</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開 催 日：平成 29 年 7 月 29 日（土）、30 日（日）</li> <li>・開 催 場 所：ポリテクセンター中部、東海職業能力開発大学校、ポリテクセンター関西</li> </ul> <p>（電子機器組立て職種）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開 催 日：平成 29 年 8 月 22 日（火）</li> <li>・開 催 場 所：コンベンションルーム AP 西新宿</li> </ul> <p>1. 開催時期：平成 29 年 5 月～12 月 3 回</p> <p>2. 委 員 等：学識経験者、企業能技能者育成担当者、指導者、アブダビ大会参加エキスパート等</p> <p>1. 韓国大会派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会名：韓国技能五輪全国大会</li> <li>・期 間：平成 29 年 5 月 15 日（月）～20 日（土）</li> <li>・場 所：韓国（インチョン）</li> </ul> <p>2. 特別技能競技会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会名：北東アジア特別技能競技会</li> <li>・期 間：平成 29 年 6 月 21 日（水）～26 日（月）</li> <li>・場 所：日本（横浜市）</li> </ul> <p>3. 台湾大会派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会名：台湾技能五輪全国大会</li> <li>・期 間：平成 29 年 7 月 11 日（火）～16 日（日）</li> <li>・場 所：台湾（台南市）</li> </ul> <p>4. 特別技能競技会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会名：北東アジア特別技能競技会</li> <li>・期 間：平成 29 年 7 月 31 日（月）～8 月 5 日（土）</li> <li>・場 所：日本（名古屋市）</li> </ul> <p>5. 第 55 回技能五輪全国大会への韓国、台湾の技術代表等の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：平成 29 年 11 月 23 日（木）～27 日（月）</li> <li>・場 所：栃木県宇都宮市ほか</li> </ul>

事 項	実 施 状 況
<p>5 技能五輪国際大会 参加予定選手に対する強化訓練等</p> <p>ア 強化実行委員会の 設置・運営</p> <p>イ 事前の研修合宿 等の実施</p> <p>ウ 選手強化等の実 践的な強化訓練</p> <p>エ エキスパート候 補者研修会</p>	<p>1. 技能五輪国際大会出場選手強化総括実行委員会 日本代表選手の競争力強化のための戦略の検討等を目的に以下のとおり行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期: 平成 29 年 5 月～9 月 2 回</li> <li>・委 員: 技術代表、企業の技能者育成担当者、エキスパート経験者、国際大会選手経験者、関係団体、運営責任者等</li> </ul> <p>2. 職種別実行委員会 職種ごとの日本代表選手の強化訓練計画の実施等を目的に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期: 平成 29 年 4 月～12 月 3 回程度</li> <li>・委 員: エキスパート経験者、エキスパート、選手指導員、関係業界団体責任者等</li> </ul> <p>国際大会への派遣に当たり、選手、エキスパート、指導者等を一堂に集めて研修を以下のとおり行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実施日: 平成 29 年 6 月 29 日 (木) ～30 日 (金)</li> <li>2. 実施場所: クロス・ウェーブ船橋 (船橋市)</li> <li>3. 参加者: 選手、エキスパート、指導者、技術代表、講師等</li> <li>4. 内 容: 第 43 回大会の出場選手及びエキスパートによる経験談、外部講師を招いての現地事情に関する講演、国際大会出発までの準備、スケジュール、心構え、工具輸送手続等について研修を行った。</li> </ol> <p>上記 5 ア 2 の職種別実行委員会において策定された強化訓練計画、エキスパート養成計画等に基づき、強化訓練等を実施した。また、強化訓練に係る材料等の支援を行った。</p> <p>アブダビ大会後に次回大会以降のエキスパート候補者を対象にエキスパート候補者研修会を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実施日: 平成 30 年 3 月 7 日 (水) ～8 日 (木)</li> <li>2. 実施場所: クロス・ウェーブ船橋 (船橋市)</li> <li>3. 参加者: 企業、業界団体等からエキスパート候補者として推薦された者</li> <li>4. 内 容: 国際大会の概要、競技規則等、職種定義の読み方、第 44 回大会のエキスパートによる事例発表を行った。</li> </ol>

事 項	実 施 状 況
<p>オ 重点強化職種の競争力強化</p>	<p>1. 中央技能五輪選手強化委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期：平成 29 年 5 月～9 月 2 回</li> <li>・委 員：技術代表、企業能技能者育成担当者、エキスパート経験者、国際大会選手経験者、関係団体、運営責任者等</li> </ul> <p>2. 海外の大会への選手派遣等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期：平成 29 年 4 月～9 月</li> <li>・派遣場所：ドイツ、オーストラリア、台湾、アブダビ、中国</li> <li>・派遣職種：建築大工、貴金属装身具、ビューティーセラピー、洋菓子製造、CNC フライス盤、製造チームチャレンジ、自動車工、自動車板金、移動式ロボット、情報ネットワーク施工</li> </ul> <p>3. チーフエキスパート等の受入れ</p> <p>第 55 回技能五輪全国大会にチーフエキスパート等を受け入れ、競技委員、エキスパートと意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実 施 日：平成 29 年 11 月 23 日（木）～27 日（月）</li> <li>・参 加 者：重点強化職種のチーフエキスパート等</li> </ul> <p>4. 関係資料等の翻訳等によるエキスパートへの情報提供</p> <p>(1) サンパウロ大会の関係資料の翻訳</p> <p>サンパウロ大会の競技課題、インフラリスト等必要な資料を翻訳し、エキスパート等に提供した。</p> <p>(2) WS I のウェブサイト上での競技課題の内容についての意見交換は、職種により分量に偏りがあること、時期が一定しないこと等から、当協会がまとめてチェックし、翻訳能力の高い派遣職員等を配置してリアルタイムで情報提供を行った。</p> <p>5. アブダビ大会検討委員会の開催</p> <p>アブダビ大会終了後、各種委員会を設置し、日本選手の成績向上に必要な分析、検討を行った。</p> <p>(1) 総括委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実 施 日：平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月 2 回</li> <li>・委 員：技術代表、企業の技能者育成担当者、エキスパート経験者等</li> </ul> <p>(2) 職種別分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実 施 日：平成 30 年 1 月～3 月 3 回程度</li> <li>・委 員：サンパウロ大会等を経験したエキスパート、技能五輪全国大会競技委員、アブダビ大会参加エキスパー</li> </ul>

事 項	実 施 状 況
<p>6 国際大会への選手等の派遣</p> <p>ア 国際大会開催地の事前調査</p> <p>イ アブダビ大会前の研修の実施</p> <p>ウ アブダビ大会派遣</p>	<p>ト等</p> <p>6. 国際大会実施職種に対応するための国内大会予選大会への支援 印刷職種の業界団体からの申請に基づき、競技大会実施のための要項を策定し、競技委員等の旅費等の支援を行った。</p> <p>7. WS I への参加経費等 WS I へ年会費 2 分の 1 を支払った。</p> <p>第 44 回技能五輪国際大会（アブダビ大会）への日本選手団の派遣に向けて、競技会場等の事前調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査時期: 平成 29 年 4 月 9 日（日）～14 日（金）、平成 29 年 8 月 28 日（月）～9 月 2 日（土）</li> <li>・調査項目: 競技会場環境及び競技実施状況、開閉会式会場、宿泊ホテル及びその周辺、送迎空港等</li> </ul> <p>1. 選手、エキスパート等に関する研修 上記 5 イと併せて実施した。</p> <p>2. 通訳に対する研修</p> <p>(1)集合研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期：平成 29 年 6 月 9 日（金）、20 日（火）、7 月 3 日（月）</li> <li>・実施場所：東京八重洲ホール、中央職業能力開発協会</li> <li>・内 容：技能五輪国際の概要、競技規則等</li> </ul> <p>(2)職種ごとの研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期: 平成 29 年 6 月下旬～10 月</li> <li>・実施場所: 選手の訓練場所等</li> <li>・内 容：競技課題の内容、テクニカルターム、インフラリスト 等</li> </ul> <p>第 44 回技能五輪国際大会（アブダビ大会）へ以下のとおり日本選手団を派遣した。</p> <p>1. 日本選手団：選手 45 人（40 職種）、エキスパート 40 名、エキスパート付通訳 40 名のほか、関係者（団長、公式代表、技術代表、チームリーダー等） 計 138 名</p>

事 項	実 施 状 況
<p>エ メダリストによる報告会等の実施</p> <p>7 技能五輪国際大会の誘致</p> <p>ア 技能五輪国際大会誘致に向けた検討会ワーキンググループの設置</p> <p>イ 情報収集等</p> <p>8 若年技能者人材育成支援等</p> <p>ア 地域における技能振興</p>	<p>2. 派遣期間：平成29年10月7日（土）～10月21日（土）</p> <p>【技術代表等】</p> <p>平成29年10月8日（日）～10月21日（土）</p> <p>【エキスパート等】</p> <p>平成29年10月10日（火）～10月21日（土）</p> <p>【選手等】</p> <p>3. 結果：</p> <p>金メダル：3職種（情報ネットワーク施工、製造チームチャレンジ、メカトロニクス）</p> <p>銀メダル：2職種（CNCフライス盤、溶接）</p> <p>銅メダル：4職種（移動式ロボット、自動車工、ITネットワークシステム管理、プラスチック金型）</p> <p>1. メダリストの講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：平成30年3月26日（月）</li> <li>・実施場所：渋谷ヒカリエ</li> <li>・内容等：アブダビ大会の紹介（大会映像等）、金メダリストの紹介、講演等を行った。</li> </ul> <p>2. 報告書の作成・配布</p> <p>大会概要、選手の体験手記、エキスパートの評価報告書等の報告書を作成し、配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配布先：選手の所属企業等、大会関係者、国公立図書館等</li> <li>・部数：6,500部</li> </ul> <p>誘致のための諸条件の調査及び愛知県が条件を満たしているかどうか等の検討を行った。</p> <p>1. 実施日：平成29年5月～平成30年3月 5回</p> <p>2. 参加者：学識経験者、都道府県関係者、企業内技能競技大会関係者等</p> <p>誘致が決定したことから、WSI事務局等や加盟国・地域との意見交換を行い、必要な情報の収集を行った。</p> <p>1. 地域における技能振興事業の支援等</p> <p>(1) 都道府県技能振興コーナーが実施する技能振興事業の支援</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>都道府県技能振興コーナー（以下「コーナー」という。）が実施する技能振興事業が効果的に実施されるよう、41コーナーの技能振興イベントについて、延べ43回、地元新聞紙等への広告を掲載した。</p> <p>(2)ブロック開催の技能進行事業の実施</p> <p>全国のコーナーを6ブロックに分けて、ブロックごとに各コーナーと協力しつつ、以下のイベントを実施した。</p> <p>ア. 技能競技大会展</p> <p>イ. 技能士展</p> <p>ア. 技能競技大会展では、競技職種、競技内容の説明、全国大会と国際大会の関係、全国大会の開催スケジュール等をパネル展示で行うとともに、技能五輪国際大会及び国内大会における成績優秀者による実演、大会風景の映像放映、関連する資料の配布等を行うことで、広く技能競技大会の周知が出来るイベントを行った。</p> <p>イ. 技能士展では、技能検定制度、技能検定試験及び技能士会の紹介、技能士と社会の関わり、技能士になることのメリット、技能士が企業にいることによる企業のメリット、技能士になるためにかかる標準的な訓練期間・訓練内容、技能士の具体的な技能レベル等をパネル展示で行うとともに、技能士による実演、技能グランプリの大会風景の映像放映、関連する資料の配布等を行い、広く技能士制度の周知や普及の促進が出来るイベントを行った。</p> <p>(3)シンポジウム</p> <p>上記(2)のイベントのうち「関東・甲信越ブロック」で開催する1回は業界団体等を集めたシンポジウムとして行った。</p> <p>11月6日、大手町サンケイプラザに参加者93名を集めて開催。参加者アンケートで「非常に満足」又は「満足」と回答した割合92.7%。</p> <p>基調講演：日本の製造業と町工場に活力を与える、コマ大戦      緑川 賢司氏（NPO 法人全日本製造業コマ大戦協会名誉顧問）</p> <p>パネルディスカッション：      「あだち工場男子」発刊の狙い、反響と今後の目標      小早川 真樹氏（(株)しまや出版代表取締役）他5名</p> <p>(4)「地域発！いいもの」応援</p> <p>各地域で行われている技能振興に資する取組み・制度等について広く国民への周知を図るため、「地域発！いいもの」応援として、上半期は10都県11事例の応募のうち5県5事例を認定し、下半期は6都県8事例の応募のうち5都県6事例を認定し、それぞれ結果の公表を行った。</p> <p>(5)グッドスキルマークの認定</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>技能検定制度のさらなる周知・普及を図るため、一級技能士又は単一等級技能士が製作した、あるいは製作に関わった場合にのみ、商品又は作業現場等に表示できるグッドスキルマークについて延べ 11 件（申請者 14 名）の申請があり、全て認定され、平成 30 年 3 月 23 日に結果について公表した。</p> <p>(6) 技能士の活躍好事例集の作成</p> <p>社会における技能士に対する認知度向上のため、技能士の活躍ぶりに関する好事例集として、①技能士の活躍による企業業績の向上等に焦点を当てた企業関係者向けと、②企業内における若い技能士の処遇、働きがい等に焦点を当てた学生向けの冊子を作成。企業向け、学校向け、各 13,000 部作成した。</p> <p>(7) 入職促進ガイドブックの作成</p> <p>製造業・建設業を対象とした、業界・業種への入職を促すためのガイドブックを作成し、ポータルサイト「技のとびら」で公開した。</p> <p>ガイドブックは製造業・建設業各 10,000 部作成した。</p> <p>取材した企業の職種は、製造業は、めっき、金属プレス加工、水産練り製品製造、鋳造、電気機器組立て、金属熱処理の 6 職種。建設業は、建築大工、型枠施工、かわらぶき、塗装、路面標示施工、鉄筋施工の 6 職種。</p> <p>(8) 技能伝承に取り組む企業の好事例等の公表</p> <p>全国の各コーナーにおいて開催した、技能伝承に取り組む企業の好事例の発表会及び意見交換会、並びに IT を活用した生産性向上の取り組みを実施する企業の好事例発表及び意見交換会の結果概要について、ポータルサイト「技のとびら」で公開した。</p> <p>2. 技能検定制度等に係るポータルサイト「技のとびら」の保守・管理</p> <p>現場で頑張っている技能士へのインタビューを掲載した「技能士きりり」について、家具製作（いす張り作業）、情報配線施工、建具、畳製作、鉄筋施工、広告美術、印章彫刻の取材を行い、コンテンツを追加した。</p> <p>「技のとびら」のコンテンツの情報更新を合計163回行い、年間のアクセス数は722,432PVに到達した。</p> <p>3. 技能競技大会成績優秀者を活用した若年者のものづくり産業への就業意識の啓発</p> <p>(1) 各種競技大会に係る広報資料の作成</p> <p>平成 29 年 10 月にアラブ首長国連邦（アブダビ）で行われた第 44 回技能五輪国際大会において、主にメカトロニクス、建築大工、及びフラワー装飾の 3 職種の選手に密着取材した内容を元にして作成した DVD 付き冊子「Go for the GOLD」を 5,000 部作成した。</p>

事 項	実 施 状 況																								
<p>イ ものづくりマイスター等の認定・登録</p>	<p>(2) 技能五輪国際大会金メダリスト等の派遣 各コーナーから挙げた技能五輪国際大会金メダリスト等の技能競技大会成績優秀者の派遣等要請に対し、当該成績優秀者や所属企業等と調整を行い、延べ7コーナーに対し10人の派遣を行った。</p> <p>1. ものづくりマイスター推進会議 ものづくりマイスター制度の効果的な推進等にかかる意見を聴取し、今後の取組に活かすために「ものづくりマイスター推進会議」を開催した（7月4日）。</p> <p>2. ものづくりマイスター・ITマスター認定申請書の審査等 コーナーを経由して提出されたものづくりマイスター及びITマスターの認定申請書について、認定委員会にて審査を行い、合計1,105名のものづくりマイスター及び198名のITマスターを認定した。認定者には、コーナーを通じて認定証を交付した。</p> <table border="1" data-bbox="560 925 1378 1462"> <thead> <tr> <th colspan="2">開催日時</th> <th colspan="2">認定者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>平成29年5月18日</td> <td>ものづくりマイスター ITマスター</td> <td>268名 41名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>平成29年7月20日</td> <td>ものづくりマイスター ITマスター</td> <td>262名 52名</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>平成29年9月14日</td> <td>ものづくりマイスター ITマスター</td> <td>170名 54名</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>平成29年11月9日</td> <td>ものづくりマイスター ITマスター</td> <td>182名 22名</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>平成30年1月18日</td> <td>ものづくりマイスター ITマスター</td> <td>223名 29名</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. ものづくりマイスター・ITマスターに係るデータ管理 新規認定されたものづくりマイスターの情報は、平成25年度に構築したものづくりマイスター認定・登録システムに登録し公開。 また、ITマスターに係るデータ管理に関しては、既存のものづくりマイスター認定・登録システムに機能追加（認定者の登録、活動報告等）を中心とする改修を行った。</p>	開催日時		認定者数		第1回	平成29年5月18日	ものづくりマイスター ITマスター	268名 41名	第2回	平成29年7月20日	ものづくりマイスター ITマスター	262名 52名	第3回	平成29年9月14日	ものづくりマイスター ITマスター	170名 54名	第4回	平成29年11月9日	ものづくりマイスター ITマスター	182名 22名	第5回	平成30年1月18日	ものづくりマイスター ITマスター	223名 29名
開催日時		認定者数																							
第1回	平成29年5月18日	ものづくりマイスター ITマスター	268名 41名																						
第2回	平成29年7月20日	ものづくりマイスター ITマスター	262名 52名																						
第3回	平成29年9月14日	ものづくりマイスター ITマスター	170名 54名																						
第4回	平成29年11月9日	ものづくりマイスター ITマスター	182名 22名																						
第5回	平成30年1月18日	ものづくりマイスター ITマスター	223名 29名																						
<p>ウ ものづくりマイスター等の活用</p>	<p>1. ものづくりマイスターを活用した人材育成に関するコンセンサスの形成 以下のパンフレット・好事例集等を作成。 (1) 「ものづくりマイスター制度のご案内」「ITマスター制度のご案内」各80,000部ずつ作成</p>																								

事 項	実 施 状 況
	<p>(2)「ものづくりマイスター活用好事例集」の作成（中小企業編、学校編各 12,000 部ずつ新規作成ほか）</p> <p>(3)平成 28 年度に作成した「ものづくり体験事例集」の増刷 10,000 部</p> <p>(4)ものづくりマイスターシンボルマークの周知・活用（シール：1,700 パック、腕章・ワッペン：各 750 部増刷）</p> <p>(5)技能競技大会を活用した人材育成の取組マニュアル及び 3 級技能検定実技試験課題を用いた人材育成マニュアルの増刷</p> <p>技能競技大会を活用した人材育成取組マニュアルについて、職種別合計 250 部、職種共通編（本編）1,070 部、職種共通編（資料編）1,070 部の増刷を行った。</p> <p>2.ものづくりマイスターの実技指導支援</p> <p>(1)コーディネートマニュアルの作成</p> <p>学校関係者、ものづくりマイスター、IT 技能者、学識者等を対象にヒアリングによる実態把握を行い、ヒアリング結果を分析して取りまとめ、マニュアルを作成した。</p> <p>(2)3 級技能検定の实技試験課題を用いた人材育成マニュアルの作成</p> <p>全国標準的に実技指導が行えるよう、3 級の技能検定職種のうち、6 職種（造園（造園工事作業）、機械加工（数値制御旋盤作業）、電気機器組立て（配電盤・制御盤組立て作業）、冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）、建築大工（大工工事作業）、配管（建築配管作業）について人材育成マニュアルを作成した。</p> <p>(3)技能検定受検資格付与の準備</p> <p>都道府県が実施する技能検定の受検希望者に対し、受検資格を公平公正に付与する観点から、3 級技能検定の全職種（平成 28 年度において結論が出ている職種は除く）を対象に「受検資格を持たない者に対して、受検資格を付与することについての賛否」、「安全性を担保する条件」、「安全に作業できる技量の判断・確認方法」等について調査を行い、その調査結果を踏まえ、技能検定制度や人材育成について見識の深い学校関係者等による委員で構成する委員会において「受検資格付与の可否」や「付与に際しての要件」等について検討し、その検討結果を委員会報告書として平成 29 年 10 月末に厚生労働省へ提出した。</p> <p>3.コーナーにおけるものづくりマイスターに対する指導技法等講習の実施に関する支援等</p> <p>(1)資料提供</p> <p>コーナーからの依頼に基づき、適宜指導技法講習の実施に必要な資料を提供するとともに、「IT マスター講義ガイド活用に係るコーナー職員研修会」を平成 29 年 4 月 25 日、中野サンプラザに 93 名を集めて開催した。</p>

事 項	実 施 状 況				
	<p>(2) IT マスター用講習ガイドのラーニング用フォーマットの開発・ポータルサイトへの掲載</p> <p>平成 28 年度に作成した IT マスター講義ガイドについて e ラーニング形式で受講できるようにするためのフォーマット（「動画で学ぶ IT マスター講義ガイド」）を作成し、各コーナーに配布した。</p> <p>(3) ものづくりマイスターを対象とした事例発表・意見交換会を以下のとおり実施した（各会の参加者のうち2名は事例発表者）。</p> <p>○東京都内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月14日 造園職種（15名参加）</li> <li>・12月15日 仕上げ職種（15名参加）</li> <li>・12月15日 機械保全職種（10名参加）</li> </ul> <p>○大阪府内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月17日 造園職種（14名参加）</li> <li>・1月18日 仕上げ職種（9名参加）</li> <li>・1月18日 機械保全職種（10名参加）</li> </ul> <p>(4) ITマスターの講師に対する講習会の実施</p> <p>「ITマスターに対する指導技法等講習の講師向け講習会」について、東日本地区（東京都内）で1月25日（26名出席）、西日本地区（大阪府内）で1月19日（17名出席）、開催した。</p> <p>講師：特定非営利活動法人インターネットスキル認定普及協会 平田 克二 副理事長</p> <p>4. ITマスターの活動支援</p> <p>IT マスターが指導する「プログラミング教材（小学生向け）」で使用するロボットについて円滑に実施運営がなされるよう、一括してセンターがロボット 35 台を借り上げ、コーナー間における事業実施に係るスケジュールの調整を行いながらコーナーにロボットを提供し、全国的なニーズに対応できるよう効率的に事業を実施した。</p> <p>5. ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施等</p> <p>(1) ものづくりマイスター等の派遣による実技指導の実施</p> <p>全国のコーナーにおいて、中小企業・団体や工業高校等からの要請を受けて、ものづくりマイスター・IT マスターを派遣し、実技指導を実施した。派遣にあたっては、要請先の指導ニーズを的確に把握した上で、効果的な指導となるよう、ものづくりマイスター選定と実技指導内容について適切なコーディネートを実施した。</p> <p><b>【実技指導の実施結果】</b></p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>ものづくりマイスター</td> <td>全国で 130,957 人日</td> </tr> <tr> <td>IT マスター</td> <td>全国で 196 人日</td> </tr> </table>	ものづくりマイスター	全国で 130,957 人日	IT マスター	全国で 196 人日
ものづくりマイスター	全国で 130,957 人日				
IT マスター	全国で 196 人日				

事 項	実 施 状 況
<p>エ 全国斉一的な事業展開</p>	<p>(2)「目指せマイスター」プロジェクト</p> <p>ア.「ものづくりの魅力」発信</p> <p>小中学校等や教職員の理解と協力を得て、児童・生徒等に、ものづくりマイスターがその仕事をするようになったきっかけや仕事の内容、仕事の楽しさや辛さなどを直接語り、必要に応じてものづくり体験や事業所見学も行う「ものづくりの魅力」発信の授業を実施。</p> <p>イ.「ITの魅力」発信</p> <p>小中学校等や教職員の理解と協力を得て、児童・生徒等に、情報技術に関する興味を喚起させ、情報技術を使いこなす職業能力の付与実現に向け、IT技能に関わる楽しさを伝えるために「ITの魅力」発信の授業を実施。</p> <p>ウ.若者に対する「ものづくりの魅力」発信</p> <p>地域若者サポートステーションからの要請を受け、様々な要因で未就労になっている若者に対して、ものづくりマイスターを活用した必要な支援策を検討・実施。</p> <p>エ.ものづくりマイスターの働く現場での職場体験実習</p> <p>一人親方や自ら事業を営んでいるものづくりマイスターに対し、2日間以上にわたる職場体験実習の実施について要請し、協力が得られた場合には、学校やハローワーク等に参加者を呼びかけ、実施。</p> <p>【「目指せマイスター」プロジェクトの実施結果】</p> <p>ものづくりマイスター 全国で 78,949 人日 IT マスター 全国で 3,883 人日</p> <p>1.全国会議の開催等による中央技能振興センター（以下「センター」という。）とコーナー間の連携の強化等</p> <p>全国会議及びブロック会議を以下のとおり開催した。</p> <p>(1)全国会議</p> <p>開催日時：平成 28 年 4 月 24 日 開催場所：中野サンプラザ 出席者：47 コーナー＋センター職員：111 名 厚生労働省能力評価課：4 名</p> <p>議 題：</p> <p>①平成 28 年度の活動実績及び平成 29 年度の目標 ②技能士ロゴマーク認定業務について ③物作りマイスター認定業務について ④IT マスター認定業務・新システムについて ⑤育成支援課関係業務について ⑥事前質問への回答</p>

事 項	実 施 状 況
	<p>⑦質疑応答</p> <p>(2)ブロック会議</p> <p>ア. 北海道・東北ブロック 開催日：平成 29 年 11 月 20 日 開催場所：仙台ガーデンパレス（宮城県）</p> <p>イ. 関東・甲信越ブロック 開催日：平成 29 年 11 月 8 日 開催場所：AP 西新宿（東京都）</p> <p>ウ. 東海・北陸ブロック 開催日：平成 29 年 10 月 30 日 開催場所：アイリス愛知（愛知県）</p> <p>エ. 近畿ブロック（大阪府） 開催日：平成 29 年 11 月 1 日 開催場所：AP 大阪梅田東（大阪府）</p> <p>オ. 中国・四国ブロック 開催日：平成 29 年 10 月 19 日 開催場所：岡山コンベンションセンター（岡山県）</p> <p>カ. 九州・沖縄ブロック 開催日：平成 29 年 12 月 6 日 開催場所：ホテルセントラーザ博多（福岡県）</p> <p>議 題（全ブロック共通）：</p> <p>①ものづくりマイスター・IT マスター関連 第 2 四半期までの認定状況、活動状況等</p> <p>②センターにおける事業実施状況及び情報提供 センター事業進捗状況、グッドスキルマークについて、IT マスター「ロボットプログラミング」におけるロボットレンタルについて、システムの改修について等</p> <p>③技能振興コーナー活動について IT マスターの開拓について、「技能伝承に取り組む企業の好事例発表及び意見交換」の実施状況について</p> <p>2. 活動目標の進捗管理 事業全体の活動目標が確実に達成されるよう、必要に応じてコーナーに報告を求める等により、コーナーの業務進捗状況を的確に把握しつつ、適切な業務指導、業務調整等を行った。</p> <p>3. 業務に関する質疑・要望等 「ものづくりマイスター認定・登録システム」を通じてコーナーから</p>

事 項	実 施 状 況
<p>9 関係業種団体の技能競技大会等に対する協力</p>	<p>寄せられた質疑・要望等について、委託元に確認のうえ、センターから回答を行った。</p> <p>1. 会員団体等の実施する行事に対する後援等  職業能力の開発及び向上の促進に寄与するため、会員団体等の主催する技能競技大会等、38団体〔34団体〕への後援又は審査員の派遣等を行った。</p> <p>2. 会員団体等の実施する技能競技大会等における表彰  技能者の意気高揚を促し技能尊重気運の醸成を図るため、会員団体等の実施する技能競技大会等、延べ17団体〔17団体〕が実施した競技大会等の入賞者に対して、会長賞又は理事長賞を授与した。</p>

#### 第4 緊急人材育成・就職支援基金事業の実施

事 項	実 施 状 況
<p>1 各種奨励金等の迅速かつ円滑な支給</p>	<p>1. 若年者人材育成・定着支援奨励金関係業務（平成30年度まで）  非正規雇用の若年者に正規雇用として雇い入れることを前提に訓練を実施した事業主に対する若年者人材育成・定着支援奨励金について、支給対象であると都道府県労働局長が認めた事業主に対し、協会に支給申請書到着後14日以内に奨励金の支給を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年者人材育成・定着支援奨励金 412件 2億6,831万円</li> </ul> <p>2. 民間人材ビジネスの活用による労働市場の機能強化事業（平成29年度まで）  労働市場のマッチング機能の強化を図るため、民間人材ビジネスを活用した若者・女性の就労支援を実施し、支給対象者であると厚生労働省職業安定局長が認めた事業主に対し、協会に支給申請書到着後14日以内に事業経費等を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介予定派遣活用型正社員就職応援事業費 48件 10億3,570万円</li> <li>・研修・職業紹介一体型再就職応援事業費 17件 6,702万円</li> </ul>
<p>2 債権回収業務の実施</p>	<p>1. 個別の債権毎に折衝状況等は、「債権管理簿の管理経緯」に確実に残し、今後の対応に活かした。また、「債権管理データベース」において、債権毎の返済状況及び状況分類を行うことにより債権管理を効率よく行った。</p> <p>2. 緊急人材育成・就職支援基金事業に係る未収債権について、財務上、回収が可能とされている金額（未収金債権額-貸倒引当金）を5年間で回収するとした場合の金額2,000万円を目標にして、回収を進めた。</p>

事 項	実 施 状 況
3 支給業務以外の経過措置業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(目標に対する)回収金額 2,483万円 (達成率124.1%)</li> <li>・平成29年度回収総額 4,231万円</li> </ul> <p>3.平成29年度に発生した新規債権については「債務承認」(返済開始、分割返済の契約を含む)の取得を全件(100%)とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度 新規債権件数 15件</li> <li>・平成29年度 新規債権「債務承認」取得件数 11件 (達成率 73.3%)</li> </ul> <p>1.緊急人材育成支援事業(平成35年度まで) 平成21年度から平成25年度に支援を開始した者に対する支援として、次の経過措置業務を一般社団法人日本労働者信用基金協会を通じて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練・生活支援資金融資に係る保証経費の補助 2,303万円</li> </ul> <p>2.長期失業者等支援事業(平成32年度まで) 平成21年度中に支援を開始した者に対する支援として、次の経過措置業務を一般社団法人日本労働者信用基金協会を通じて実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職安定資金融資に係る保証経費の補助 128万円</li> </ul>

## 第5 広報出版・情報資料の提供

事 項	実 施 状 況
1 職業能力開発の推進のための広報活動	<p>技能検定をはじめとする、能力開発・能力評価関連事業の周知・広報のため、次の活動を行った。</p> <p>1.当協会の事業内容等について、ホームページによる広報活動 ホームページ (<a href="http://www.javada.or.jp/">http://www.javada.or.jp/</a>) を当協会事業のポータルサイトとして、技能検定、コンピュータサービス技能評価試験、CADトレース技能審査、ビジネス・キャリア検定をはじめ、技能五輪大会等の各競技大会、職業能力開発サービスセンター、教育訓練給付制度厚生労働大臣指定教育訓練講座検索システム、若年技能者人材育成支援等について広報を実施した。 アクセス件数：2,268,661件 [2,313,164件]</p> <p>2.メールマガジンの配信 技能検定をはじめとする、当協会の能力開発・能力評価関連事業の広報活動を行うため、「JAVADA情報マガジン」を配信した。</p>

事 項	実 施 状 況
2 職業能力開発・評価に関する出版物の発行	<p>全国版：12回〔12回〕、全国特別版：12回〔14回〕、都道府県版：73回〔53回〕</p> <p>3. 新聞、月刊紙等の紙面を利用し、当協会の事業について広報活動を行った。</p> <p>新聞：11回、月刊誌等：7回</p> <p>次の図書を新たに発刊又は増刷した。 (新刊)</p> <p>1. 平成28年度 特級 技能検定試験問題集 (第1集) 1,500部 (第2集) 1,100部 (増刷)</p> <p>2. CADS (キャリア開発シート) バージョン2.2 2,180部</p> <p>3. CADI (環境変化自己診断ツール) バージョン2.2 3,000部</p> <p>4. コンピュータサービス技能評価試験 表計算部門 ver4 4,000部</p> <p>5. コンピュータサービス技能評価試験 ワープロ部門 ver4 4,000部</p> <p>6. キャリアシフトチェンジのためのワークショップ「教材セット」 1,800部</p> <p>7. キャリアシフトチェンジのためのワークショップ「インストラクターガイド」 80部</p>

## 第6 会務等

事 項	実 施 状 況																				
1 会員及び役員	<p>1. 会員</p> <p>平成29年3月31日現在における会員は、次のとおりである。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>都道府県協会会員</td> <td style="text-align: right;">47</td> <td style="text-align: right;">( 47)</td> </tr> <tr> <td>団 体 会 員</td> <td style="text-align: right;">235</td> <td style="text-align: right;">(237)</td> </tr> <tr> <td>企 業 会 員</td> <td style="text-align: right;">70</td> <td style="text-align: right;">( 71)</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">352</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">(355)</td> </tr> </table> <p>注 ( ) 内は、平成30年3月31日現在の会員数である。</p> <p>2. 役員</p> <p>平成30年3月31日現在における役員は、次のとおりである。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>会 長</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> <tr> <td>副 会 長</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> <tr> <td>理 事 長</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> <tr> <td>常務理事</td> <td style="text-align: right;">1名</td> </tr> </table>	都道府県協会会員	47	( 47)	団 体 会 員	235	(237)	企 業 会 員	70	( 71)	計	352	(355)	会 長	1名	副 会 長	2名	理 事 長	1名	常務理事	1名
都道府県協会会員	47	( 47)																			
団 体 会 員	235	(237)																			
企 業 会 員	70	( 71)																			
計	352	(355)																			
会 長	1名																				
副 会 長	2名																				
理 事 長	1名																				
常務理事	1名																				

事 項	実 施 状 況						
2 各種会議の開催	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 30%;">理 事</td> <td style="text-align: right;">30名(副会長、常務理事を除く)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">監 事</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">37名</td> </tr> </table>	理 事	30名(副会長、常務理事を除く)	監 事	2名	計	37名
	理 事	30名(副会長、常務理事を除く)					
監 事	2名						
計	37名						
<p>1. 総会・理事会</p> <p>(1) 第55回理事会</p> <p>ア. 開 催 日：平成29年6月19日</p> <p>イ. 場 所：中野サンプラザ（東京都）</p> <p>ウ. 出 席 者：理事会構成人員35名中34名（含委任状）</p> <p>エ. 議 長：会長 釜 和明</p> <p>オ. 議事次第</p> <p style="margin-left: 2em;">(ア) 議決事項</p> <p style="margin-left: 4em;">第1号議案 平成28年度事業報告（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">第2号議案 平成28年度収支決算（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">第3号議案 平成29年度事業計画変更（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">第4号議案 平成29年度収支予算変更（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">第5号議案 役員を選任（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">第6号議案 参議を選任（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">上記議案について審議し、了承された。</p> <p style="margin-left: 2em;">(イ) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員・参議の選任、副会長の使命及び参与の委嘱について</li> <li>・会員の加入について</li> </ul> <p>(2) 第38回通常総会</p> <p>ア. 開 催 日：平成29年6月19日</p> <p>イ. 場 所：中野サンプラザ（東京都）</p> <p>ウ. 出 席 者：会員総数354名中290名（含委任状）</p> <p>エ. 議 長：会長 釜 和明</p> <p>オ. 議事次第</p> <p style="margin-left: 2em;">(ア) 議決事項</p> <p style="margin-left: 4em;">第1号議案 平成28年度事業報告（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">第2号議案 平成28年度収支決算（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">第3号議案 平成29年度事業計画変更（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">第4号議案 平成29年度収支予算変更（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">第5号議案 役員を選任（案）に関する件</p> <p style="margin-left: 4em;">上記議案について審議し、原案のとおり了承された。</p> <p style="margin-left: 2em;">(イ) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急人材育成・就職支援基金事業（特別会計）に係る平成29年度収支予算の変更について</li> </ul>							

事 項	実 施 状 況
<p>3 ブロック会議等の主催</p>	<p>(3) 第56回理事会</p> <p>ア. 開 催 日：平成30年3月13日</p> <p>イ. 場 所：中野サンプラザ（東京都）</p> <p>ウ. 出 席 者：理事会構成人員35名中34名（含委任状）</p> <p>エ. 議 長：会長 釜 和明</p> <p>オ. 議事次第</p> <p>（ア）議決事項</p> <p>第1号議案 平成30年度事業計画（案）に関する件</p> <p>第2号議案 平成30年度収支予算（案）に関する件</p> <p>上記議案について審議し、了承された。</p> <p>2. 第39回参与会議</p> <p>(1) 開 催 日：平成30年2月23日</p> <p>(2) 場 所：AP西新宿（東京都）</p> <p>(3) 座 長：今野 浩一郎 氏</p> <p>(4) 次 第：平成29年度主要事業業務実施状況について</p> <p>中央協会と都道府県協会とが一体となり事業を推進していくため、事業全般の諸課題等について、中央協会と都道府県協会との意見交換や情報提供等を目的とした会議を開催した。</p> <p>1. 九都道府県職業能力開発協会連絡協議会</p> <p>（北海道、宮城県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県の各協会）</p> <p>(1) 第1回</p> <p>平成29年5月19日（東京都新宿区）</p> <p>(2) 第2回</p> <p>平成29年12月19日（東京都新宿区）</p> <p>2. ブロック会議</p> <p>(1) 北海道・東北ブロック</p> <p>平成30年2月5日（宮城県仙台市）</p> <p>(2) 関東・甲信越ブロック</p> <p>平成30年1月30日（東京都新宿区）</p> <p>(3) 東海・北陸ブロック</p> <p>平成30年1月25日（愛知県名古屋市）</p> <p>(4) 近畿ブロック</p> <p>平成30年2月7日（大阪府大阪市）</p> <p>(5) 中国・四国ブロック</p> <p>平成30年1月24日（岡山県岡山市）</p>

事 項	実 施 状 況
<p>4 都道府県協会主催ブロック別会議等への出席</p>	<p>(6)九州ブロック 平成30年2月8日（福岡県福岡市）</p> <p>都道府県協会との密接な連携のもとに業務を運営するため、都道府県協会が行う各種事業に係る意見交換等を行うブロックごとに開催される会議に次のとおり当協会役職員が出席し、意見交換を行った。</p> <p>1. 9都道府県連絡会 平成29年7月20日（神奈川県横浜市）</p> <p>2. ブロック別会議</p> <p>(1) 北海道・東北ブロック 平成29年9月28日～29日（宮城県仙台市）</p> <p>(2) 関東・甲信越ブロック 平成29年9月21日～22日（埼玉県さいたま市）</p> <p>(3) 東海・北陸ブロック 平成29年9月27日（三重県津市）</p> <p>(4) 近畿ブロック 平成29年9月1日（和歌山県和歌山市）</p> <p>(5) 中国・四国ブロック 平成29年6月28日（岡山県岡山市）</p> <p>(6) 九州ブロック （前期）平成29年9月14日（沖縄県那覇市） （後期）平成30年2月22日（長崎県長崎市）</p>
<p>5 中央協会及び都道府県協会職員研修の実施</p>	<p>協会職員の資質・能力の向上を図るため、次のとおり研修を実施した。</p> <p>1. 中央協会職員研修</p> <p>(1) 管理職研修</p> <p>ア. 開催日：平成29年5月10日 イ. 場 所：中央協会（東京都） ウ. 内 容：人事評価について</p> <p>(2) 経理関係研修</p> <p>ア. 開催日：平成29年5月26日・6月21日 イ. 場 所：中央協会（東京都） ウ. 内 容：経理の基礎知識について</p> <p>2. 都道府県協会職員研修</p>

事 項	実 施 状 況																	
6 都道府県協会主催の職員研修への職員派遣	<p>(1)開催日：平成29年11月2日  (2)場 所：中央協会（東京都）  (3)内 容：  ①外国人技能実習生の技能検定実施関係  ②技能検定受検手数料減免措置に係る各種手続について  ③技能検定試験の実施に係る適切な運営について</p> <p>北海道・東北ブロックで実施した職員研修に中央協会から職員を派遣し、協会職員の資質・能力の向上を図った。</p> <p>1.開催日：平成29年10月26日～27日  2.場 所：北海道立職業能力開発支援センター（北海道）  3.内 容：  ①仕事に活かすアンガーマネジメント  ②財務、給与、報酬管理システムの活用について  ③「働き方改革」が迫る中での長時間労働問題への対応</p>																	
7 コンプライアンス委員会の開催	<p>コンプライアンスの徹底を図るため、コンプライアンス委員会を開催した。</p> <p>1. 第1回：平成29年4月25日  2. 第2回：平成29年12月26日  3. 第3回：平成30年3月6日</p>																	
8 会長表彰等	<p>職業能力の開発及び向上の促進を図り、技能者の意気高揚を促し技能尊重気運を醸成するため、「職業能力開発関係表彰式」を開催し、「職業能力開発事業関係」、「技能検定事業関係」及び「技能振興事業関係」の事業所、団体及び功労者に対し会長表彰を行った。</p> <p>(1)開 催 日：平成29年11月15日  (2)場 所：明治記念館（東京都）  (3)被表彰者：190件（201件）</p> <table border="1" data-bbox="528 1783 1441 2040"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">職業能力 開発事業 関係</th> <th colspan="2">技能検定事業関係</th> <th rowspan="2">技能振興 事業関係</th> </tr> <tr> <th>中 央</th> <th>都道府県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業所及び団体</td> <td>1〔1〕</td> <td>6〔6〕</td> <td>18〔25〕</td> <td>4〔1〕</td> </tr> <tr> <td>功 労 者</td> <td>26〔28〕</td> <td>20〔20〕</td> <td>109〔110〕</td> <td>6〔11〕</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	職業能力 開発事業 関係	技能検定事業関係		技能振興 事業関係	中 央	都道府県	事業所及び団体	1〔1〕	6〔6〕	18〔25〕	4〔1〕	功 労 者	26〔28〕	20〔20〕	109〔110〕	6〔11〕
区 分	職業能力 開発事業 関係			技能検定事業関係			技能振興 事業関係											
		中 央	都道府県															
事業所及び団体	1〔1〕	6〔6〕	18〔25〕	4〔1〕														
功 労 者	26〔28〕	20〔20〕	109〔110〕	6〔11〕														

事 項	実 施 状 況			
9 職業訓練生災害傷害 保険制度の推進	職業訓練施設に在籍する訓練生の訓練中又は通校途中の傷害事故に対する保険制度を次のとおり実施した。			
	区 分	公 共	認 定	合 計
	加 入 者	45,274名 〔51,026名〕	936名 〔968名〕	46,210名 〔51,994名〕
	支給件数	866件〔934件〕 【0件〔0件〕】	10件〔23件〕 【0件〔0件〕】	876件〔957件〕 【0件〔0件〕】
(注) 支給件数欄中の【 】内の数値は、死亡事故に係る支給件数で内数である。				